

第 8 次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	出納関係事務
-----	--------

会計区分	一般会計	実施主体	市
根拠法令等	鳥取市出納室設置規則、鳥取市会計規則等		
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	実施(補助)期間 自 継続 ~ 至

担当部	出納室	担当課	出納室
担当係	出納係	内線	2811 課 75010
関係課	財政課(財務会計システム)		

総合計画			
基本計画	章名	第4章 効率的で質の高い市役所づくりと地域の特徴を活かした計画的なまちづくり	
	節名	第1節 効率的で質の高い市役所づくり	
	細節名	第4 長期的に持続可能な財政基盤の構築	
	施策名	歳出の効率化	該当ページ 171ページ
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン			
事業区分	新規	継続	施策 41-04-01

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考	注意事項	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容			
現行の財務会計システムの円滑な運用管理を行うとともに、リース期間満了(平成19年9月まで)後は機器の更新を図っていく。市税等公金の円滑な収納事務を行う。公共料金の口座振替を平成18年度から実施する。	・財務会計システム、収納処理システムの管理運用	・財務会計システム、収納処理システムの管理運用	・平成14年に導入した財務会計システム機器・システム及び平成16年度に導入した合併対応の機器・システムの更新を行う。 ・財務会計システム、収納処理システムの管理運用	・平成14年に導入した財務会計システム機器・システム及び平成16年度に導入した合併対応の機器・システムの更新を行う。 ・財務会計システム、収納処理システムの管理運用		(注1) 事業内容は、緊急性、地域の実情、効果、熟度、有利財源の確保の観点により、毎年ローリング(見直し)する中で変更していくことがあります。 (注2) 事業費(財源内訳)は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。	
事業の概要	・現行財務会計システム機器のリース期間は平成19年9月で満了となるが、現機能の維持を図りながら再リースとし、平成21年度の合併対応機器更新時に併せて更新する。 ・納入済通知書のOCR読み取り処理を継続して行い、収納処理事務の効率化・迅速化・正確化を図っていく。 ・光熱水費、電話料金等公共料金の支払いを、口座振替によって行う。						
事業の対象者(交付先)	すべての市民						
事業費(百万円)	H19決算額	H20予算額	H21予算要求予定額	H22予算要求予定額	H20～H22合計		
	36	28	21	29	78		
財源内訳(イット)	一般財源	33	26	20	26		72
	国庫支出金						
	県支出金						
	起債(負担金)						
	3	2	1	3	6		
活動の指標(アウト)	納入済通知書のOCR化、公共料金の口座振替の実施等	公共料金の口座振替見込数年間約19,000件	公共料金の口座振替見込数年間約19,000件	公共料金の口座振替見込数年間約19,000件			
効果(アウト)	各主管課及び出納室における支払・収納事務の効率化、迅速化、正確化と市民の利便性の向上	約2,300時間の省力化	約2,300時間の省力化	約2,300時間の省力化			
特記事項		効果目標を2,400時間から2,300時間に下方修正。	効果目標を2,400時間から2,300時間に下方修正。	平成14年度・16年度導入の財務会計システム機器更新効果目標を2,400時間から2,300時間に下方修正。			